

企業名： JUKI

レポート名： JUKI コーポレートレポート

1. この会社が目指す姿が理解できるか

今後の展望に関する記述が少し少ない印象を受けた。2017年にスタートし2022年をゴールに設定した中期経営戦略は理解できたが、もっと長い目で見た会社の未来が知りたいと思った。5年の中期目標とともに、10年20年後の会社の目標が知りたかった。しかし会社全体での目標は見えづらかった一方で、各事業における将来性はとてもわかりやすかった。各事業分野のこれからの展開の仕方などをチャートを活用しわかりやすく説明していたが、もう少し具体的な数字もみられるとより興味を持ってそうだと思った。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

理解しやすかった。この会社が強みにしているポイントをチャートに埋め込む等視覚的にわかりやすくまとめてあって容易に理解することができた。そのうえで、工業用ミシン・家庭用ミシン・産業装置・グループ事業等の各分野に関する具体的な説明が文章で行われていて、より詳しい現状を理解することができた。また、海外事業への取り組みを一貫して主張していてわかりやすかった。この主張によって会社の強みがよく伝わってきたし、他社と差別で来ているような気がした。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できた。先ほど述べたように各分野の説明が詳しく行われているパートがあり、そこでは現状の分析とともに今後の取り組みについて述べられていて現在から未来へのシフトがイメージしやすかった。主事業であるミシンばかりまとめるのではなく、産業装置やグループ事業についてみ同じまたはそれ以上の情報を掲載することで会社の安定感を示せていてよいと思った。また、SDGsへの取り組みも大部分を使って説明していて持続性に期待できると思った。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

あまり思えなかった。社長と社員のインタビューが掲載されていたがあまり惹かれる内容ではなかった。なぜ社長と社員どちらも読んだのか不思議に思ってしまった。また、先ほど述べたようにこの会社が目指す遠い将来の姿がわかりにくかったために、この会社に入ったときに自身が向上させることのできる価値や、働くうちに得られるスキルがイメージしづらかった。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

まず、この事業分野に詳しくない人や経営に疎い人でも読んでみたいと思わせるレイアウトになっていてすごく読みやすかった。しかしわかりやすさを追求したために具体性に欠けていたのではないかと思う。特に、この会社が目指す姿に関しては具体的な数字を示すなどして詳しく説明してほしかった。全編を通して数値データが少なかったのが具体性の欠如につながってしまったと思うので、見せ方に工夫を凝らしつつデータを多く活用できるといいのではないだろうか。

また、未来を担う学生に就職先として興味を持ってもらうならば、社員育成に関するパートを組み込めるといいのではないかと思った。今のレポートだと事業の説明が大半を占めていて働くイメージがわきにくかった。例えば、新入社員に向けた研修やサポート等を紹介したり、社員が挑戦できるプロジェクトなどを少しでもいいので紹介できると働くイメージを持ちやすいのではないだろうか。